

## 日本建設機械レンタル協会宮城支部

## 平成 30 年度 第 6 回理事会 議事録

日 時 : 平成 31 年 3 月 14 日 (木) 12:00~14:00  
場 所 : 協会会議室  
出 席 者 : 石井支部長、山本、池田 (代理中田)、蛸名各副支部長、  
菅原 (大)、浦田、成澤 (代理、高橋 (一)、中野 (代理大塚)、  
天道各理事、遠藤監事 計 12 名  
事務局 小原

## —配布資料—

1. 第 46 回定期総会スケジュール他
2. 新規入会申込書 (会員=㈱開盛リース、賛助会員=東栄㈱)
3. 平成 30 年度収支報告書 (2/28 現在)
4. 2019 年度メイン行事表
5. HP アクセス集計表 (2/28 現在)

山本専務理事が、開会にあたり上記出席者を確認し、理事会の成立を確認した。  
又、議長は定款第 13 条第 4 項の規定により石井支部長が任にあたることを報告した。

\* これより、石井支部長が議長を務めた。

\* 石井支部長挨拶(要旨)

- ・ 今年選挙イヤーとなりそうだが、建産連をはじめ関連団体より名簿の提出依頼等があると思うが、ご協力をお願いしたい。
- ・ 本部関連のレンタル管理士の申込状況は良好のようだが、宮城は本部による説明会の実施した関係で他支部より多いようだ。又、JCRA オークションも再開するようだ。
- ・ 働き方改革、人手不足等問題が山積しているが、協会活動の見直しも含め対応してゆきたい。

以下省略

議事録署名人……(有)ウラタ建機リース浦田哲郎理事、日立建機日本㈱高橋一理事  
の 2 名を指名した。

## 2. 本部可発委員会(2/6)報告……………山本専務理事

- ・今回石井支部長の代理で参加したが、講師を含め、可発の試験問題等の検討がされた。東北の講習会は7/3～5の三日間となるようだ。来年以降は開催時期をずらす方向で検討中との事。
- ・可発委員会は今後ペーパーレス化を図るとの事。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

## 3. 新規入会会員について

別紙資料の通

- ・賛助会員として東栄㈱、会員として㈱開盛リースの2社から入会申し込みが出ている。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

## 3. 事務局員契約更新他について

- ・女子事務員の二位関さんに関しては継続したい。
  - ・新事務局長についての決定は三役一任でお願いしたい。
- 応募は10名近くあったが、3名に絞った結果で後日連絡できると考える。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

## 4. その他

- ・次回開催日 3019年5月16日(木) 15:00～仙台サンプラザ
  - ・5月17日(金) 懇親ゴルフ大会(泉パークタウンGC=8組)
  - ・収支状況及びHPアクセス数(別紙資料の通り)
  - ・平成30年度の収支報告として29年度比較で入金が40万ほど下がり、次期繰越高が240万程度の見込みとなっている。
  - ・最終決算・来季予算等の作成に関して、三役一任をお願いしたい。
  - ・合同研修会の開催日は、東海林分科会実行委員長と協議の上決定したい。
- 3/19連絡が取れ、6月7日(金)開催する予定となった。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

## 5. 近況報告

- ・名取に営業所を開設したので宜しくお願いしたい
- ・売り上げ面では本年度、来年度とも予定通りと考える。尿素取扱いに関して顧客の理解を得ながら取り組んでいるが内容的には厳しい面がある。
- ・中古市場が活発になってきているが、景気は停滞気味で、最低価格の設定等々今後の課題は多いように感ずる。
- ・採用後に法規に沿った教育の必要性が出ている。
- ・今年の冬は雪が少なく、除雪機器の戻りが早まっている。  
今後精算等の問題が発生すると考える。
- ・協会活動の活発化として、懇親会・ゴルフコンペ等開催を継続する。
- ・4時規制機の単価の維持に努めている。
- ・人材確保（整備・営業）が難しい。
- ・AI活用が大幅に増えているが、今後さらに増えると考える。
- ・宮城の売り上げ減少傾向、足元を見直している。
- ・レンタル管理士の推進に努めている。又中途採用も促進している状況だ。

平成 31 年 3 月 14 日

議事録署名人

理 事 (有)ウラタ建機リース

浦田哲郎 

理 事 日立建機日本(株)

島 鶴 一 